

台本例（第4回 野郎キャラ表現「何しやがる！」）

<凡例> A・B：出演者、S：日本語の専門家、V：声優（音源）

赤：日本語音声、青：ト書き、<翻訳>：各国語訳音声、♪：効果音

<p>①キーフレーズを知る</p>	<p>A: 今回は野郎キャラクターの表現を勉強します。まずは聞いてください。 どんなシーンで使われているか、分かりますか。 ♪ボゴツ ※殴る</p> <p>V: 「何しやがる！」&lt;翻訳&gt;</p> <p>A: お～、怒っている感じで迫力がありますね。 不良が出てくるようなマンガで使われる表現でしょうか。</p> <p>B: そう。喧嘩のシーンで出てきそうでしょ。こんな表現もありますよ。 ♪ブチッ ※キレル</p> <p>V: 「マジで殴るぞ、テメーっ。」&lt;翻訳&gt;</p> <p>A: 荒っぽい！さすが野郎キャラ。 でも、実際にどこが特徴的なのか、ちょっとよくわからないですね。</p>
<p>②解説を聞く</p>	<p>B: 日本語の専門家、国際交流基金関西国際センターの熊野先生に聞いてみましょう！</p> <p>S: 少年アニメ・マンガに登場する戦う男や不良っぽいキャラクター、 いわゆる「野郎」キャラクターが使う表現には特徴がいくつかあります。 「やがる」は、相手や他人の行動に対して嫌悪感や侮蔑の気持ちを表す時に使う表現です。 「何しやがる！」は、「何するんだ！」に相手への強い怒りが加わった表現です。 アニメやマンガでは、他にも「何言ってやがる」&lt;翻訳&gt;、「何考えてやがる」&lt;翻訳&gt;などの 表現も使われます。</p> <p>B: 「やがる」。ここに気持ちが表れてるんですね。</p> <p>A: 私もよくわかりました。 次は、「マジで殴るぞ、テメーっ。」について、先生に教えてもらいましょう。</p> <p>S: 「マジで」は「本当に」という意味です。 また、「殴るぞ」の「ぞ」は、「よ」のような終助詞で、男性がよく使います。 これから行おうとすることを相手に強く宣言する時によく用いられる表現です。 そして、「テメー」は「あなた」ということです。喧嘩相手や敵に対して使う呼称です。 「マジで殴るぞ、テメーっ。」は、標準語では「本当に殴りますよ、あなた」となります。</p> <p>B: 「殴る」&lt;翻訳&gt;に「ぞ」を付けて宣言してるんだ。</p> <p>A: 「マジで」は日常会話で聞くこともありますね。</p> <p>S: 「マジで怒るぞ。」&lt;翻訳&gt;という使い方もできますね。</p> <p>B: これらの表現は、仲間うちでのふざけた会話でも使われますが、</p> <p>A: 相手を威嚇する、かなり乱暴に聞こえる表現なんですよ。 アニメやマンガではバトルのシーンなどでよく使われます。 野郎の言葉遣いだからかなり乱暴だというのは納得です。だから仲間内での会話なんですね。 実際に使おうとしたら、要注意です。</p>
<p>③キーフレーズ確認・なりきって言う</p>	<p>A: ではセリフをもう一度聞きましょう。</p> <p>V: 「何しやがる！」</p> <p>V: 「マジで殴るぞ、テメーっ。」</p> <p>B: 怒りの感情がこもっていると、野郎キャラクターらしくなりそうですね。</p> <hr/> <p>A: ではここで、キャラクターになりきって言ってみましょう！ リスナーの皆さんも一緒に。</p> <p>V: 「何しやがる！」 ※A、Bリピート</p> <p>V: 「マジで殴るぞ、テメーっ。」 ※A、Bリピート</p> <p>B: Aさん、そんなに怒らないで～！「マジでこわいんですけど！」 こうなったら…「逃げるぞ！」</p>